

事務事業名		固定資産台帳整備事業		所属部	総務部	所属課	管財課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G	課長名	須田 弘	
	施策名	〈08〉財政の健全化		担当者名	井上芳樹	電話番号	0854-40-1025	
	目的:対象	市の財政	意図	健全に運営する。		(内線)	2372	
	基本事業名	〈026〉効率・効果的な財産の管理運用		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的:対象	基金・財産	意図	効率・効果的に財産を管理運用する。		011002	02	中事業	中事業名
					053001	01	中事業名	財産総務管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (      年度～      )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 27 年度～ 28 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
新地方公会計への移行に合わせ、財務諸表の一つとして固定資産台帳を整備する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動																														
	27年度実績(27年度に行った主な活動) 〈業務委託〉 ・台帳整備支援業務  28年度計画(28年度に計画する主な活動) 〈業務委託〉 ・台帳整備支援業務																														
	② 活動指標																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>25年度 (実績)</th> <th>26年度 (実績)</th> <th>27年度 (実績)</th> <th>28年度 (計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 財産の棚卸作業</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td>30.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	ア 財産の棚卸作業	%			30.0	100.0	イ						ウ						エ					
	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)																										
ア 財産の棚卸作業	%			30.0	100.0																										
イ																															
ウ																															
エ																															

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	市有財産	ア 市有財産	式			1	1
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	
市有財産の台帳管理を行う。	ア 整備率	%			0.0	100.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
委託料 3,780千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円			3,780	9,882
	事業費計 (A)	千円			3,780	9,882
	人件費	正規職員従事人数	人			2
延べ業務時間		時間			117	
人件費計 (B)		千円			458	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			4,238	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
新たな地方公会計制度では、所有する固定資産を評価し決算へ反映することとなった。	特になし	特になし

事務事業名	固定資産台帳整備事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	事業計画に基づく進捗であり、向上余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	適正な資産評価ができず、財政の健全化が図れない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
評価 の 総 括	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		事業費は固定資産台帳整備に係る委託経費となっており、削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		最低限の人員で対応しており、削減の余地がない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		固定資産台帳整備であるため、受益者が生じない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
今年度から2カ年の事業であり、庁内推進体制の確立から、各課のヒアリングや一部棚卸作業を、基本方針に沿って実施することができた。				

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
平成28年度事業完了に向け、効率よく事業を推進する。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		